

於和時報



帰還列車は二日遅発

軍移動が此の原因?

本報が前子居たりし加
州行特別列車は九月廿
一日の日曜日朝生直へ
北九鉄道会社より全
日陸軍の空運に依り
到着は廿日迄供養米
寸との通知があつた
次に査定せら諸項を記
載する

(一) 列車は九月廿日
午前八時到着同九時
乗車
山崎ギバツゲーは
二十九日午前八時より
乗り来り

(二) フリートは現在の
ケネディで金曜生
もロウクアアアも
扶助費及食費は土

日午前九時より支
ひする
(三) 加全部の自由人
就働者は土曜日就働
する
此の運送に關して
ストン所長は左の聲明
を發してゐる
運送列車運送を非常
に遺憾に思ふ幸にして
客諸氏が之に依つて余
り不便を感じない様
を願ふ

飯運兵の移動に依り
の如き変動が生ずる
の二日の運送停止を
得ないものである
土曜就働の爲に日
休業する事となる

子供の行儀は 先づ家庭に要望

加州學校は理事とか父
兄代表等が教育の學校
で行ない子弟を送る全
以下列各空軍時間変更
急告記事の爲次第へ廻

急告

舟転往に際して 注意を要する住所番号

當所駐着部員談に依る
上、前番の多數がその
を折先を著げずに出る
名に給料及衣服費の左
ミが迷子となり大藏省
五孤居に運送されたり
の様な状態である
今後再此状態を区世工
に確かな人に住所先
住所を残さ水居く之が
ない場合のみす、前記
の左を摸する事と
る或し行先が明確な
場合、知人の所又は

加州飯運列車の時間更
改戦時々例を変更し
急復雜な注意此指
内は折時間所謂一時
近の折時間列車午後
一時早に折所に入車
より乗客を運搬列車
二時の予定

列車第一時半(二時半)
客車 二時(四時)

ホステル等を一時的に
借用して是後折の先
次第區長迄通知する
便利である
又治身救部市の郵便局
若より飯運自承人宛の
郵便物ハデリバリーに
非常困難な場合がある
と言ふて来たが今後飯
運者は郵便局に赴き同
折で申込書に教林の
折郵便箱番号住所等を
書き込むと非常困難
共に便利である日承人

書道會の 大川師去る

加州和折所におりて一
若熱心な趣味の会派
若退会は春秋の衣
笠合は加折平生の教室
にありても各人の転往
折生活に調にかを共
て與れ大さきに印并
山先生去り今回の列車
で大川英頓先生の去
事は書道會のみならず
一被折民にとつて非常
な損失と言ふも吾人の
兩師の折途に多事を心
から精進する

痴癡ボーイ 重傷を求人

九月廿一日日本紙で折民
に訴へ、痴癡ボーイ

仏教會 ニコース

日既説教は廿日午後二
時より廿八日仏教會に
て早島岡教授の説教
一徳氏及九廿七区在往
故島崎夫人の遺帯金を
併修する故有縁の士の
燒香をのぞむ
堀日既生校五仏教青年
サービ又は特別列車出
発の爲当日既に限り休
まらる

佛の勵人當時三名の缺
員であつたが今日事
は五名不足の概は違
死したる折所閉鎖も三十
月以後になつた現在
ての若者が益進り若
精神的に落付きも夫
は居るに於てか茲に
おて病人に付する同情
を喚起する者才である
本報若くは早速病現
ラトマ

外部定住欄

沙港便り

レントンハイランド政府住宅沙港に帰還同胞十二家族が入る事を得たが同家屋のレントンは一ヶ月一雜貨付三十五坪五十坪西羅屋付五十坪あり電燈冷庫庫其他家具一切の完備されて居ると。

ロングビチ便り

長治に於て五十家族の日系人家屋を得得地政府住宅支配人の致に後れば各センターより當地に帰還せる日系人の内五十家族がカブソは及びツールマンポイントマンの二政府住宅区域に於て他人種間称に新生活を営むと。

日系兵を賣揚
同大將は且て米國陸軍

步兵部隊司令官として欧州の戦野に活躍せる人であるか最近のロンドンに於ける新聞記者團會議に對し声明書を發表政州戦線に活躍せるニ占兵士を左の如く稱揚せり云は日本人を知らずい然し米國生の日系人は良く知つて居る彼等は常に生國米國の爲め最も勇敢に戦つた存不存に於ては三千人の日系兵士が私の指揮下に在つた事もある彼等こそ米國最優秀の兵であると思ふ也

これに居る種々の畜業は百八十餘に達するが當市の白人地主連の日系人に許する気受は大變に好く答へ持好くやつて居る今最も有望と思はれる職業は洗濯業靴修繕業花店土産物店等であらう。

一世的發展
シカゴWRAに就職同地方再転住の援助をさしつゝある足田庄太郎氏は左の如く語る現在同胞の手に依つて経営

これに居る種々の畜業は百八十餘に達するが當市の白人地主連の日系人に許する気受は大變に好く答へ持好くやつて居る今最も有望と思はれる職業は洗濯業靴修繕業花店土産物店等であらう。

ハニリー及び井村夫人よりの便りに依ると井村夫人は中央政府關係に就ける山崎夫人は目下ホテル経営の機会を待たつゝありと。

ロングアイランド(紐育)巴市から謝和を怪て同地に移り住んだ正田元次郎夫妻及婦三人の許に親しい訪問者があつた客はミシガンから旅を續けて來た一子ボツ上等兵下胸には南條北仔奮戦を物語る従軍章が輝き涼ある紫心章は之等一際光を添えて居る。

下野夫人(五十三才)
華儀と通夜
下野の夫人(五十三才)41Aは去る九月二十日心臓麻痺にて逝かれたがお通夜を水曜午後七時半又華儀を木曜午前九時より廿八區傳教會に於て早高師司式の下に學事とつた。

西替部閉鎖
當りと交際の結果九月からの給料と被服料は現金で拂ひ渡す事になりしはから才三十三日の兩替所も今月一杯不用領します。

戦後の日系人に対する

西部沿岸人の態度は？

次はデモインレゲスタ
紙記者細川ヒル程の
西部沿岸の対日系人空
丸の予想に討する一文
である。

有名な著者が日系人の
友たる一采人は常に沿
岸の排日を苦々しく思
ひ近き将来の好転を予
告して来た。

戦争終末と同時に、
る予言をする事は尤も
り危険である。然し既に
旅迷なる排日家を除い
た一船民の対日系戦時
猜疑心及憎悪は解消し
つ、ある。

此の著者は彼の予言を
前大戦に於ける采人の
対独乙人態度を基礎に
行つてゐる。一度ヒステ
リーが轉る時米國人
は自身の缺点を認識し

同時日系市民の戦時努
力を正しく見る事が米
末の政府の眞珠湾惨事
報告書を見る時米國は
戦前日本の暗号解讀か
日本國の裏切者から
か知れないが日本政府
の戦争プランを手に取
る如く知つて居たらし
いその上政府は日本の
眞珠湾攻撃を行ふ様仕
向けたのである。

を突きさす様な人同と
見なし総主選きを政策
とする態度に従つて日
系人全部を収容した。

政府は此の誤の處又之
を是正する爲何百万弗
を空費した。

忠誠ニ忠兵は身を以つ
て戦ひ自身のみならず
家族にも立派なる米國
人たる事を一般に示し
た。其の事績は漸次一
般に知られ、あるニ
忠兵は政壇の野によく
戦つたかくの如く日系
人の戦時努力の認めら
れる時人種偏見は永解す

力があつた。

さもあらばある此度
一篇の様態となつたは
在米日系人であつた彼
等の爲に辯する者は當
時殆んどなかつた。政府
は日系人全部をスパイ
可能者及背後から短刀

に住宅の崩壊される迄

に住宅の崩壊される迄

に住宅の崩壊される迄

に住宅の崩壊される迄

十一年生 教室新設さる

訓和學校は教師不足の
爲十一學年が設置され
て居りかつたが今四十
七区の茂木氏令息が此
の任に當つて失礼な事
となり十一學年の受付
を始めて居る故世五三
高校にて登録され、

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

今現在世三名の日系
學生が在學して居る又
他の人種も今回の入學
競争者二名が二百名居る
始め二名は一団になつ
て居たが漸次白人有志
と混合しつ、ある
パサデナ安身二名兵士
名は叙勲された即ち林
道一、一等兵は死後特勲
十名、事跡はロサンゼルス
又野ハヘンリー上等兵
は銅星章を授けられた
僱村に目を転ずると通
常生活への復讐は決し
て容易ではない。

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

パサデナ及ロサンゼルスに
於ける日系人の経
験する諸事相

布市地方飯遷者

布市地方のR氏を賞せ
オドアルイノ氏の談に
依ると先般の改葬搬遷
令解除の結果飯遷する
人もあるがその数は數
百人に過ぎないだらう
と、福岡氏の言に依ると
以前布市地方に居住せ
る人々の多數が中米部
又は東部に移住して居

布市地方のR氏を賞せ
オドアルイノ氏の談に
依ると先般の改葬搬遷
令解除の結果飯遷する
人もあるがその数は數
百人に過ぎないだらう
と、福岡氏の言に依ると
以前布市地方に居住せ
る人々の多數が中米部
又は東部に移住して居

布市地方のR氏を賞せ
オドアルイノ氏の談に
依ると先般の改葬搬遷
令解除の結果飯遷する
人もあるがその数は數
百人に過ぎないだらう
と、福岡氏の言に依ると
以前布市地方に居住せ
る人々の多數が中米部
又は東部に移住して居

布市地方のR氏を賞せ
オドアルイノ氏の談に
依ると先般の改葬搬遷
令解除の結果飯遷する
人もあるがその数は數
百人に過ぎないだらう
と、福岡氏の言に依ると
以前布市地方に居住せ
る人々の多數が中米部
又は東部に移住して居

布市地方のR氏を賞せ
オドアルイノ氏の談に
依ると先般の改葬搬遷
令解除の結果飯遷する
人もあるがその数は數
百人に過ぎないだらう
と、福岡氏の言に依ると
以前布市地方に居住せ
る人々の多數が中米部
又は東部に移住して居

布市地方のR氏を賞せ
オドアルイノ氏の談に
依ると先般の改葬搬遷
令解除の結果飯遷する
人もあるがその数は數
百人に過ぎないだらう
と、福岡氏の言に依ると
以前布市地方に居住せ
る人々の多數が中米部
又は東部に移住して居

布市地方のR氏を賞せ
オドアルイノ氏の談に
依ると先般の改葬搬遷
令解除の結果飯遷する
人もあるがその数は數
百人に過ぎないだらう
と、福岡氏の言に依ると
以前布市地方に居住せ
る人々の多數が中米部
又は東部に移住して居

布市地方のR氏を賞せ
オドアルイノ氏の談に
依ると先般の改葬搬遷
令解除の結果飯遷する
人もあるがその数は數
百人に過ぎないだらう
と、福岡氏の言に依ると
以前布市地方に居住せ
る人々の多數が中米部
又は東部に移住して居